

～ 農業で“豊かな生活”を！～
田中 啓詞さん（西予市（旧野村町））
泉美さん



JA ひがしうわ ハウスきゅうり部会
野村町農林業振興協議会 所属
啓詞さん 1983年生まれ 泉美さん 1985年生まれ

☆経営概況☆

平成 28 年に妻の地元である西予市野村町に1ターン就農し、きゅうり（ハウス 20a、露地 11a）を主体とした経営を行っています。そのほか、キウイフルーツ 12a、水稻 22a、冬野菜 10a を、妻と協力しながら栽培しており、冬野菜は地域の直売所（百姓百品）で販売しています。

☆ここがポイント☆

■就農の経緯

北海道出身で、数年間は地元で働いていましたが、妻との結婚を機に西予市に移住し、**妻の祖父母が守ってきた農地**を継承することに決め、農業を始めました。元々自然が好きだったことや、「**祖父母が見てきた景色を自分の目で見てみたい**」という妻の思いもあり、就農を決心しました。

■就農してみた

農業は**自分次第で様々なことができる**ことが魅力だと感じています。実家が非農家で、学業でも農業を専攻していなかったこともあり、始めたばかりの頃は分からないことが多くありましたが、**徐々に力を入れるところ・抜くところの配分**が分かってきました。

時間にゆとりができたなら、子どもとふれあう時間を大切に過ごしていきたいと考えています。

■きゅうり栽培のいいところ！

きゅうりは、ハウス・露地合わせて1年に4回作付しており、**同じ作業を年4回経験**することができます。そのため、他の品目に比べ**技術が習得しやすい**と感じています。

また、繁忙期の収穫作業は毎日になりますが、**定期的に販売額の入金があるため、1年を通して安定した収入**を得ることができます。

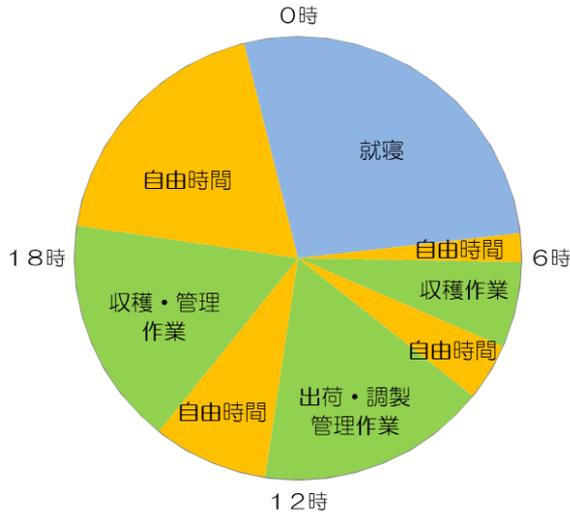


きゅうりの収穫作業



夫婦でキウイフルーツを収穫

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

子どもがまだ小さいので、作業時間は模索中ですが、両親の協力を得ながら作業をしています。時間ができたら、妻との共通の趣味である食器を見に行ったり、その器で盛り付けた美味しい料理でゆっくりお酒を飲んだりしたいと思っています。

地域には、同世代で農業をしている仲間が意外と多く、定期的に情報交換をしながらお酒を酌み交わしたりして交流しています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】（予定に合わせて休日を取る）						
← 収穫・出荷・管理作業 →						
【普通期】						
← 栽培管理 →		← 休日 →		← 栽培管理 →		



お気に入りの食器



子どもとの時間

☆これからの夢や目指すもの☆

安定した収入を得て、自分なりに理想とする「豊かな生活を送る」というのが一番の目標です。継承した山にはお茶や梅、ゆずなどが栽培されているので、四季の恵みを身の回りで感じながら、生活をより豊かなものにしていきたいと思っています。

☆メッセージ☆

農業は、大きな志がなくても地道に毎日仕事をすれば、サラリーマン生活では得難い自然豊かな生活を送ることが可能だと考えています。また、就農しようとする環境さえ見つけることができれば、職業の選択肢のひとつとして挑戦できるものだと実感しています。